

二〇二五年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験(問題・解答) 用紙
実施日時: 二〇二五年二月二十六日(水) 九時三〇分〜十一時三〇分(二時間〇〇分)

科 目	学 科 名	受験生記入欄	(ア)	(イ)
国 語	楽 理 科	受験番号		
七枚のうち一枚目		番		

第一問 次の文章は、吉田裕「今日の日本における空間の輻輳と作家たち」(『危機のなかの文学』所収、二〇一〇年六月、水声社)の一部です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。なお、一部原文とはレイアウトの異なる箇所があります。

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

科目	学 科 名	受験生記入欄 受験番号	(ア)	(イ)
国 語	楽 理 科			
七枚のうち二枚目				

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

二〇二五年度 東京藝術大学 音楽学部 入学試験(問題・解答)用紙
実施日時：二〇二五年二月二十六日(水) 九時三〇分～十一時三〇分(二時間〇〇分)

科 目	学 科 名	受験生記入欄 受験番号	(ア)	(イ)
国 語 七枚のうち三枚目	楽 理 科			

この部分につきましては、著作権法上の関係から掲載することができません。

【語注】○幅轆―さまざまなのが一つの所に寄り集まること。 ○多和田葉子―一九六〇～。東京生まれ。小説家。ドイツの書籍輸出会社での勤務経験を持ち、ドイツ語と日本語による二言語での創作で知られる。 ○吉増剛造―一九三九～。東京生まれ。詩人。エネルギーシユな朗読や、写真・動画制作などでも知られる。 ○吉見俊哉―一九五七～。東京生まれ。社会学者。都市論や文化社会学を専門とする。東京大学名誉教授。 ○吉本隆明―一九二四～二〇一二。東京生まれ。詩人、文芸評論家。幅広い領域で評論活動をおこなった。主著に『共同幻想論』等。

科目		学 科 名	受験生記入欄	(ア)	(イ)
国 語		楽 理 科	受験番号		
七枚のうち 四枚目					

問一 文中の(ア)く(オ)のカタカナを、文意に合う漢字になおしなさい。

問二 文中の波線部「(a) コラボレーション」、 「(b) セグメント」という言葉の意味について、文脈に即したかたちで簡潔に説明しなさい。

問三 文中の傍線部(1)で、「作品の空間の中にもうひとつの空間を、しかもその虚構性と無力な抵抗をいつそう強めるようなやり方で出現させる」とあるが、「虚構性と無力な抵抗をいつそう強めるようなやり方」とはどういうものか、説明しなさい。

問四 文中の傍線部(2)「それはこの未知の街が文学だけが追跡することのできる空間だということに違いない」とはどういうことか、説明しなさい。

問五 文中の傍線部(3)「作家もまたあるひとつの社会、あるひとつの時代に生きている以上、その社会および時代と、どこかでつながり、その制約を条件とし、それを相対化し、乗り越えるために書いているには違いない」とあるが、「その制約を条件とし、それを相対化し、乗り越えるために書く姿勢とはどのようなものか、説明しなさい。

問六 文中の傍線部(4)で、「それぞれの仕方でのこの動きへの反応と言うべきである」とあるが、多和田・吉増それぞれの反応に共通するものについて、「内面」という言葉を用いて説明しなさい。

科目	学科名	受験生記入欄 受験番号	(ア)	(イ)
国語 七枚のうち五枚目	楽理科			

第二問 次の文章は、『徒然草』第百四段です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

この部分につきましたは、著作権法上の関係から掲載することができません。

(『新日本古典文学大系39』方丈記 徒然草』より。文字遣いの一部を改変。)

【語注】○下衆女―下働きの召使いの女。 ○隙白くなれば―隙間から明るさが伝わってきたので

問一 文中の傍線部(ア)ゝ(ウ)を現代語になおしなさい。

問二 文中の傍線部(a)・(b)を、状況がわかるように現代語に訳しなさい。

問三 文中の第二段落、「内のさまは……」を境にした、その前後の情景の変化を説明しなさい。

問四 文中の波線部「おぼし出でて」は、どのようなことが思い出されたのか、説明しなさい。

九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

第一問									
問一		問二		問三		問四		問六	
ア		a	b						
イ									
ウ									
エ									
オ									

九時三〇分～十一時三〇分（二時間〇〇分）

$$(1)$$

--	--	--	--